令和７年度

高森町一般会計補正予算（第３号）
概要書

熊本阿蘇『野の花と風薫る郷』
高森町

国・県補助活用事業

物価高騰対応生活者支援交付金におけるLPガス支援補助事業

●エネルギー・食品等の物価高騰の影響による経済的負担を受けている方を支援するため、LPガスを利用している契約者を対象に、熊本県LPガス協会を通して支援金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を実施します。

【支給対象者】

高森町内で契約（使用）している個人

※法人名及び屋号での契約、LPガスを一時的に止めている場合は対象外となります。

【支給額】

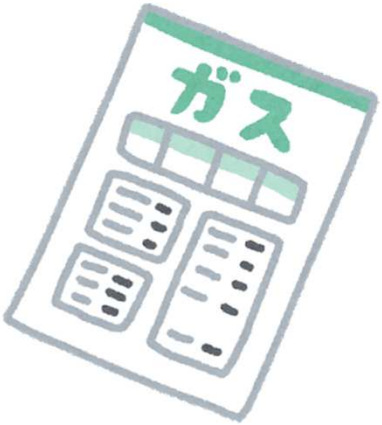
１契約当たり一律2,000円（追加支給）

財源として　1/2　LPガス支援補助金

1/2　物価高騰対応重点支援交付金　を活用

【給付・申請方法】

これまでに支援金を給付された方は新規申請の必要はなく、
熊本県LPガス協会を通して給付を実施する予定。
今まで支援金を給付されたことがない方は
オンラインまたは郵送にて熊本県LPガス協会へ申請。



※令和7年6月補正予算にて、LPガス支援補助事業第3弾（1契約当たり一律5,000円支給）に係る経費1,438万円を計上済み。
令和7年9月補正予算では、LPガス支援補助事業第4弾（1契約当たり一律2,000円支給）に係る経費745万円を計上。

事業費	補助額	一般財源
2,183万円	2,183万円	0円

予算書P13

国・県補助活用事業

台湾版クリエイティブツーリズムin高森

●台湾のマンガ作家を招聘し、高森町での体験を通じたイラストの作成、SNS発信、町内展示を行うことで、在熊を含む台湾人をメインターゲットとした誘客等を促す。

【事業の目的】
　マンガ・エンタメの力を活用し、観光客の誘客を促す。また町がクリエイターの創作活動に適した場所であるかを知ってもらう。
　県内他自治体とは違う「マンガ・エンタメ」を軸とした誘客・関係人口等増加・台湾自治体との連携協定締結等を目指す。

【事業内容】
・台湾マンガ作家を招聘した２泊３日のマンガキャンプ
・上記を通した高森の食文化、観光資源、地域との交流体験
・イラスト制作、町内展示

【その他】
　事業実施時期は、１２月頃を予定。
　※本事業はエンタメ業界と連携したまちづくり推進基金を活用することとしており、くまもと未来づくりスタートアップ補助金を活用予定

事業費	補助額	エンタメ基金	一般財源
391万円	192万円	199万円	0円

予算書P13

高齢者温泉施設入浴料助成事業

●温泉施設への入浴料を一部助成します。

【目的】

高齢者の外出及び交流を促進するとともに、高齢者の健康増進を図ることを目的とした「高齢者温泉施設入浴料助成事業」を実施する。

【概要】

・町内及び南阿蘇村の一部の温泉施設入浴料を一部助成
（休暇村南阿蘇、阿蘇白水温泉瑠璃、南阿蘇久木野温泉四季の森）

【対象者】

・高森町に在住の65歳以上の方（町税等の滞納がない方）

【助成方法】

・温泉施設の入浴券を通常より200円安く販売
※差額分を町が負担します。

【注意事項】

・1人あたりの購入限度数は月30枚まで。
・本利用券は申請者本人のみ利用可能。

事業費	利用者負担額	一般財源
1,050万円	700万円	350万円

予算書P15

「ふるさと応援基金」活用事業

未来の高森町応援補助金

●新たに地場産品を創出する事業者に対し、生産、製造及び加工等に係る費用を助成します。

【事業の目的】
　本町における魅力的な地場産品の創出を図り、地域の活性化、地場産業の振興及び町民生活の質の向上に資することを目的とする。

【対象事業者】
・自らが事業の実施主体である者。
・町内に事業所等を設置（予定を含む）し、継続した事業活動を行うことができる者。
・国税及び地方税の滞納がない者。
・新たに創出した地場産品を本町ふるさと納税の返礼品に登録する者。

【補助対象経費】
・地場産品の生産、製造、加工等に係る経費

【補助率】
・１０分の１０

事業費	ふるさと応援基金	町負担
500万円	500万円	0円

予算書P13

「ふるさと応援基金」活用事業

高森町中小企業後継者育成対策事業

● 商工会に加入している事業所で、新たに後継者となる人に対し、助成金を交付します。

【現状と課題】

本町の商工事業所は、新型コロナウイルス感染症のまん延後も続く**物価高騰**や**過疎化に伴う人材不足等**により、**個人事業主の事業所の継続が困難**な状況であり、将来的な南阿蘇地域のコミュニティ維持が難しくなっている。

【対策】

商工会と連携し、縮小している本町の商工業等にあって、意欲ある若者（後継者）が、町の商工業振興を図るための自主的な努力を助長することにより、将来的な担い手を確保する。

【事業内容】

商工会に加入している事業所に「新規に就業」または「就業している方」であって、『当該事業所が新たに後継者と認定した本町に居住している４５歳未満の方』を対象に、

・簿記等のパソコンソフト及びハード機器の購入
・新規就業に必要な資材機材導入資金等

にかかる費用に対して補助金を交付（上限３０万円）

※当初予算に対し、助成を希望する事業所が多かったため、２件分（６０万円）補正するもの

事業費	ふるさと応援基金	町負担
150万円	150万円	0円

予算書P17

「ふるさと応援基金」活用事業

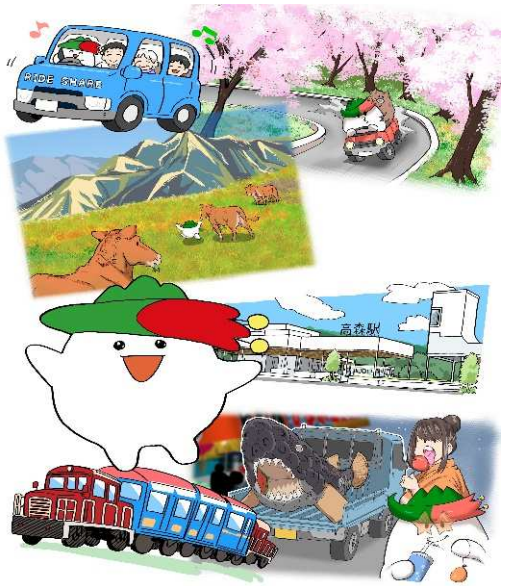
ふるさと応援「風まるリニューアル」事業

●高森町マスコットキャラクター風まるを観光PRのため、リニューアルします。

【事業の目的】
高森町のマスコットキャラクター「風まる」が熊本県の最古のゆるキャラであり注目を集めているが、着ぐるみの老朽化に伴い、イベント等への出演が減っている。
生誕３０年を契機に本町の顔である「風まる」を前面でPRし、高森町の観光地やイベントでの活用を行う。

【事業内容】
平成29年度に製作した着ぐるみが老朽化していることから
リニューアルを行う。

【事業費】
1,000,000円×2体＝2,000,000円



事業費	ふるさと応援基金	町負担
200万円	200万円	0円

予算書P17

「ふるさと応援基金」活用事業

ふるさと応援・多用途大型モニター購入費

●多目的情報発信ツールとして屋外ビジョン及び庁舎内に設置するモニターを購入します。

【現状と課題、事業の目的】

今後予想される「南海トラフ地震」等に対して、昨今増加している外国人観光客や町外からの来町者に対して、正確な情報発信を可能とするツールの整備が必要となっている。

今回、屋外ビジョン及び庁舎内に屋内モニターを整備することにより、平常時は町民に対して最新の行政情報の発信、有事の際は、防災情報の発信が可能となり情報伝達向上を図ります。

【事業内容】

モニターを購入し設置することで、これまで馴染みの深い各種横断幕としての利用や、町内への観光・商業の集客広告としての活用、さらには、地震・噴火、大雨などの災害時・有事の際などあらゆる事態に備え、高森町への来訪者（外国人観光者含む）向けのツールとしても機能するなど、多種多様な使途が可能となります。

車両通行が多い場所・多くの方の目に触れる場所へ設置し、簡単な操作で正確かつタイムリーな情報の発信強化を図る。

【設置想定】

例）国道３２５号線　役場入口交差点
　　役場庁舎内正面玄関ロビー等
　　※今後設置場所については検討協議

【事業費】

３１，２３０千円

事業費	ふるさと応援基金	町負担
3，123万円	3，123万円	0円

予算書P19

「南鉄復興応援基金」活用事業

高森駅前賑わい創出・オーバーツーリズム解消事業

●交流施設等の整備が終了した駅前の賑わい創出を図ると共にオーバーツーリズムの解消を目指し、山間部を含めた二次交通の充実を図ります。

【事業の目的】
南阿蘇鉄道高森駅は令和5年7月の全線再開に伴い大きな賑わいを見せており、更には交流施設の完成により、今後の観光ハブ施設としての活用が期待されている。
一方で、令和7年4月にオーバーツーリズム解消事業の一環としてスタートしたトロッコトゥクトゥクについては、新しい二次交通の手段として4月から7月までの4か月間で3,000人超の乗車実績となっており、高森町には欠かせない人気コンテンツとなっている。

【事業内容】
トロッコトゥクトゥクを増台し、更なる二次交通の強化と高森駅前の賑わいを町全体に波及させる。

【事業費用】
1,970,000円×3台＝5,910,000円

事業費	南鉄復興応援基金	一般財源
591万円	591万円	0円

予算書P17